

中村滋延還暦記念コンサート／作品上演・上映＋講演

現代音楽 メディアアート

音響と映像の
シンセシス

2010年 11月 23日(火・祝)
15:00 開演(14:30 開場)

西南コミュニティセンターホール > 福岡市営地下鉄空港線「西新」駅5分

一般・前売 2,000円 当日 2,500円 前売 ◆(株)キャンパスサポート西南 092-823-3576
学生・前売 1,000円 当日 1,500円 ヤマハ福岡店(天神福岡ビル1階) 092-752-0626
福岡文化芸術情報館アトリエ 092-281-0081 ほか

作品上演

中村滋延 ピアノ三重奏曲《ターニング・ポイント》(2005)
ヴァイオリン:原田大志、チェロ:市寛也、ピアノ:山本佳代子

講演1 ピアノ実演による作品例提示を含む

中村滋延 「クラシック音楽に新作は必要ない？」

中村のこれまでの創作活動をピアノ作品の演奏によって振り返りながら、現代に生きる作曲家が何を考え、何のために作曲しているのか、どのように音楽文化を創造しようとしているのか、について熱く語る。

上演作品(いずれも一部分抜粋) ◆《ピアノのためのソナチネ第2番》から「第1楽章」(1973)
《ピアノのためのMEI-AN(明暗)》から「Quasi Allegro e molto appassionato」(1977)
《ピアノソナタ》から「II. Lentamente」(1987)
《バッハによる組曲第1番》から「II. Allemande」(2005) ピアノ:山本佳代子
《バッハによる組曲第3番》から「II. Interlude」(2005)



中村 滋延



山本 佳代子

講演2 映像作品上映を含む

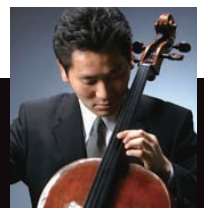
中村滋延 「メディアアートとしての映像音響詩」

中村が1990代半ばから制作を開始した映像音響詩(映像付きのコンピュータ音楽)について、作品上映を中心に、その創造特性と可能性を語る。

上映作品 ◆ Epitaph(1996) / Lust(2000) / Common Tragedies in Urban Life(2000) /
Mandala Fantasy(2004) / Samsara(2008)



原田 大志



市 寛也

主催 ◆ 西南学院
後援 ◆ 福岡市・福岡市教育委員会、(財)福岡市文化芸術振興財団 FFAC、日本音楽表現学会、日本現代音楽協会、
(財)西日本文化協会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社

問い合わせ ◆ (株)キャンパスサポート西南 092-823-3576 (船越・山頭)
西南学院コンサート委員会 080-3961-7654 (栗原)

中村滋延オフィシャルサイト ◆
<http://www.design.kyushu-u.ac.jp/~sn/>

中村滋延還暦記念コンサート／
演奏＋講演＋上映

現代音楽 × メディアアート

音響と映像のシンセシス



山本 佳代子
YAMAMOTO, Kayoko

愛知県立芸術大学音楽学部卒業、同大学院、リスト音楽院修了。1995読売新人音楽賞。リスト＝バルトークピアノコンクール2位、特別賞受賞。グラーツ、ウィーン、ブダペスト、ローマで演奏会を行う。西日本オペラ協会、福岡ゾリスデン、日本創作歌曲研究会ピアニストとして活動、また、現代作品演奏なども積極的に行う他、梅光女学院高等学校音楽科、九州大学芸術工学部、西日本短期大学非常勤講師として、後進の指導にもあたっている。これまで、田村美矢子、故三宅洋一郎、大堀敦子、藤本真実、H.G.ミルヴィス、B.レヘルの各氏に師事。



原田 大志
HARADA, Taishi

東京芸術大学音楽学部器楽科卒業、同大学院修士課程修了。ヴァイオリンを岸辺百百雄、田中千香土、前橋汀子の各氏に師事。その後、札幌交響楽団や東京室内管弦楽団等のコンサートマスターを歴任する。1994年から10年間「あいいふ弦楽四重奏団」奏者、1999年から6年間RKB女声合唱団常任指揮者を務める。2006年、自作自演のCD「琉球頌」(IZAI1001)を発売した。現在、福岡教育大学准教授。



市 寛也
ICHI, Hiroya

東京芸術大学音楽学部を経て同大学院修士課程修了。学内にて同声会賞受賞。原村室内楽セミナーにて緑の風音楽賞を受賞。松尾学術振興財団より助成金受託。都響、N響、九響、紀尾井シンフォニエッタ東京などに客演。また、関西フィルに客演首席奏者として招かれている。これまでにチェロを関原弘二・秋津智承・宮田浩久・荻田雅治・林俊昭・河野文昭、室内楽を山崎伸子・松原勝也・岡山潔・故ゴールドベルク山根美代子の各氏に師事。



中村 滋延
NAKAMURA, Shigenobu

1950年大阪生まれ。1977年愛知県立芸術大学大学院修了、石井欽・中田直宏に師事。在学中の1974-76年ドイツ政府給費留学生(DAAD奨学生)として国立ミュンヘン音大でW・キルマイヤーに師事。日本音楽コンクール作曲部門(71,73年)、国際ガウデアムス作曲コンクール(75,76年)、日本交響楽振興財団作曲賞(78年)、日本音楽集団作曲賞(78年)、「今日の音楽」作曲コンクール(83年)、国立劇場舞台芸術作品賞(99年)などのコンクールの入選入賞多数。4つの交響曲を含む約100作品に及ぶ多様な創作活動の中の特徴は、視覚的要素を構成に取り入れた音楽作品の存在であり、上演にコンピュータを積極的に応用することによって「音楽系メディアアート」というジャンルを、また映像制作を自ら手掛けることによって「映像音響詩」というジャンルをそれぞれ提唱。ICMC国際コンピュータ音楽会議や国際メディアアート賞等の海外の著名イベントでも上演上映多数。『現代音楽×メディアアート』(九州大学出版会)などの著作も多い。また評論活動も行う。ドイツZKM客員芸術家、日本音楽コンクール作曲部門審査員等を経て、現在、九州大学大学院教授(芸術工学研究院)。

会場／西南コミュニティセンターホールへのアクセス

Access 駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

福岡都市高速1号線 〇白道ランプ 福岡Yahoo! Japan 〇〇

福岡市 ●博物館 ●西南学院 ●中学・高等学校 ●よかトピア通り

西新通り ●西南学院大学 ●西南学院大学 東キャンパス

早良区役所 ●藤崎駅 ●(株)キャンパスサポート西南 ●西新駅 ●プラリバ

至 博多 ●至 天神

地下鉄 ●福岡空港～西新駅下車…約17分 ●博多駅～西新駅下車…約12分 ●天 神～西新駅下車…約8分 ※地下鉄西新駅から徒歩5分

バス ●博多駅/バスセンター～西新駅…約35分 ●天 神～西新駅…約20分 ※修学館前/バスから徒歩5分



西南コミュニティセンターホール外観

西南学院は1916(大正5)年、米南部バプテットの宣教師C.K. ドージャー(1879 - 1933)によって創立され、創立者の遺訓“Seinan, Be True To Christ”(西南よ、キリストに忠実なれ)にもとづくキリスト教教育を行っています。2007年4月開堂の西南コミュニティセンター、ならびに2008年4月献堂の西南学院大学チャペルは、音楽演奏・演劇上演・映画上映のための会場として、地域に愛される存在に育ちつつあります。